



2019年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年12月26日

| | |
|--|---|
| 上場会社名 株式会社オークワ | 上場取引所 東 |
| コード番号 8217 | URL http://www.okuwa.net |
| 代表者 (役職名) 代表取締役社長 | (氏名) 神吉 康成 |
| 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役執行役員管理本部長 兼 IR室長 | (氏名) 東川 浩三 (TEL) 073 (425) 2481 |
| 四半期報告書提出予定日 2018年12月27日 | 配当支払開始予定日 — |
| 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無 | |
| 四半期決算説明会開催の有無 : 無 | |

(百万円未満切捨て)

1. 2019年2月期第3四半期の連結業績 (2018年2月21日～2018年11月20日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 営業収益 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---------------|---------|------|-------|-------|-------|-------|------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2019年2月期第3四半期 | 195,748 | △1.4 | 1,404 | 92.4 | 1,613 | 77.6 | 1,134 | △0.5 |
| 2018年2月期第3四半期 | 198,434 | △0.2 | 730 | △48.3 | 908 | △42.4 | 1,140 | △24.2 |

(注) 包括利益 2019年2月期第3四半期 829百万円(6.8%) 2018年2月期第3四半期 776百万円(△58.0%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2019年2月期第3四半期 | 25.43 | 25.43 |
| 2018年2月期第3四半期 | 25.55 | 25.55 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|---------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2019年2月期第3四半期 | 137,010 | 77,216 | 56.3 |
| 2018年2月期 | 135,770 | 77,544 | 57.1 |

(参考) 自己資本 2019年2月期第3四半期 77,176百万円 2018年2月期 77,501百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2018年2月期 | — | 13.00 | — | 13.00 | 26.00 |
| 2019年2月期 | — | 13.00 | — | | |
| 2019年2月期(予想) | | | | 13.00 | 26.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年2月期の連結業績予想 (2018年2月21日～2019年2月20日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 営業収益 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|---------|-----|-------|------|-------|------|-----------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 269,000 | 0.1 | 3,300 | 53.9 | 3,550 | 50.9 | 1,200 | 19.8 | 26.89 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細は、添付資料6ページ「(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|------------|-------------|------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 2019年2月期3Q | 45,237,297株 | 2018年2月期 | 45,237,297株 |
| ② 期末自己株式数 | 2019年2月期3Q | 613,365株 | 2018年2月期 | 620,265株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 2019年2月期3Q | 44,621,795株 | 2018年2月期3Q | 44,624,078株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 2 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 3 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 3 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 5 |
| 四半期連結損益計算書 | 5 |
| 四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 6 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 6 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 6 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 6 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢の改善が進み、緩やかに拡大しているものの、海外経済の不確実性、米中貿易摩擦問題など、景気の動向は不透明であり、景気の上昇を実感できない状況で推移いたしました。

小売業界におきましては、個人消費が依然として先行き不透明な状況が続いており、また、業種業態を越えた競争激化も継続し、環境は厳しさを増しております。

このような状況下において、当社は年度スローガンを『業務改革と働き方改革を推し進め、お客様満足度・従業員満足度アップを実現しよう』といたしました。

このスローガンのもと、前期に本稼働した「オーデリカファクトリー安八」（岐阜県安八郡安八町）により効率改善が進み、新規商品の開発拡大により取扱高も順調に推移しております。

また、各店舗では自動発注システムの活用により発注時間が削減され、効率化に繋がっております。

店舗の新規出店につきましては、「海南下津店」（和歌山県海南市）を11月にオープンし、和歌山県下における店舗数は48店舗となりました。

店舗の改装につきましては、「南摂津駅前店」（大阪府摂津市）、「五条店」（奈良県五條市）、「松阪下村店」（三重県松阪市）、「貝塚三ツ松店」（大阪府貝塚市）において全面改装を実施いたしました。

また、「スーパーセンター桜井店」（奈良県桜井市）、「スーパーセンター瑞浪店」（岐阜県瑞浪市）、「スーパーセンター坂祝店」（岐阜県加茂郡坂祝町）、「スーパーセンターテラスゲート土岐店」（岐阜県土岐市）にダイソー売場導入の改装を実施し、「生駒菜畑店」（奈良県生駒市）、「亀山店」（三重県亀山市）には「提案型住居雑貨売場」を新設するなど、お客様の利便性の向上を図りました。

なお、「スーパーセンター河芸店」（三重県津市）は経営効率化のため、「プライスカット三雲店」（三重県松阪市）は来春新築建替えに向けて閉鎖いたしました。

この結果、当第3四半期において客数は前年同期比97.4%でありましたが、客単価は101.7%と前年を上回りました。

連結子会社については、食品スーパーの㈱ヒラマツは、減収となったものの、外食の㈱オークフーズは、経営効率化を進めた結果、売上・利益ともに改善いたしました。

また、㈱リテールバックオフィスサポートは、当社グループ内を中心に店舗・施設の管理業務を継続して行い、グループ全体の業務効率化に寄与しております。

以上により、当第3四半期連結累計期間における当社グループの営業収益（売上高及び営業収入）は1,957億48百万円（前年同期比1.4%減）、営業利益は14億4百万円（前年同期比92.4%増）、経常利益は16億13百万円（前年同期比77.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は11億34百万円（前年同期比0.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産合計は、前連結会計年度末に比べ12億40百万円増加し、1,370億10百万円となりました。流動資産では13億87百万円の増加であり、これは主に商品及び製品が9億34百万円増加したことによるものであります。固定資産では1億47百万円の減少であり、これは主に有形固定資産の「その他（純額）」に含まれる建設仮勘定が15億24百万円増加した一方、建物及び構築物（純額）が7億98百万円、投資その他の資産の「その他」に含まれる投資有価証券が8億85百万円減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ15億67百万円増加し、597億93百万円となりました。流動負債では26億59百万円の増加であり、これは主に支払手形及び買掛金が14億40百万円、流動負債の「その他」に含まれる未払金が9億68百万円増加したことによるものであります。固定負債では10億92百万円減少であり、これは主に長期借入金が7億30百万円、固定負債の「その他」に含まれるリース債務が3億35百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ3億27百万円減少し、772億16百万円となりました。これは主に退職給付に係る調整累計額が1億5百万円増加した一方、その他有価証券評価差額金が4億10百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年2月期の業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の業績等を踏まえ検討した結果、2018年4月2日に公表いたしました業績予想からの変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2018年2月20日) | 当第3四半期連結会計期間 (2018年11月20日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 11,459 | 11,540 |
| 受取手形及び売掛金 | 3,241 | 3,408 |
| 商品及び製品 | 9,883 | 10,817 |
| その他 | 3,188 | 3,395 |
| 貸倒引当金 | △37 | △37 |
| 流動資産合計 | 27,736 | 29,124 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 49,615 | 48,817 |
| 土地 | 32,688 | 32,628 |
| その他(純額) | 6,754 | 7,861 |
| 有形固定資産合計 | 89,059 | 89,307 |
| 無形固定資産 | | |
| その他 | 4,123 | 4,058 |
| 無形固定資産合計 | 4,123 | 4,058 |
| 投資その他の資産 | | |
| その他 | 14,863 | 14,532 |
| 貸倒引当金 | △12 | △13 |
| 投資その他の資産合計 | 14,850 | 14,519 |
| 固定資産合計 | 108,033 | 107,886 |
| 資産合計 | 135,770 | 137,010 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 12,997 | 14,437 |
| 短期借入金 | 7,020 | 7,660 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 4,160 | 4,370 |
| ポイント引当金 | 1,395 | 1,682 |
| その他 | 13,321 | 13,402 |
| 流動負債合計 | 38,894 | 41,553 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 9,903 | 9,172 |
| 退職給付に係る負債 | 108 | 101 |
| 資産除去債務 | 2,730 | 2,840 |
| その他 | 6,589 | 6,124 |
| 固定負債合計 | 19,331 | 18,239 |
| 負債合計 | 58,226 | 59,793 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2018年2月20日) | 当第3四半期連結会計期間 (2018年11月20日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 14,117 | 14,117 |
| 資本剰余金 | 15,023 | 15,019 |
| 利益剰余金 | 48,261 | 48,235 |
| 自己株式 | △810 | △800 |
| 株主資本合計 | 76,591 | 76,571 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 993 | 582 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △84 | 21 |
| その他の包括利益累計額合計 | 909 | 604 |
| 新株予約権 | 42 | 40 |
| 純資産合計 | 77,544 | 77,216 |
| 負債純資産合計 | 135,770 | 137,010 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自2017年2月21日 至2017年11月20日) | 当第3四半期連結累計期間 (自2018年2月21日 至2018年11月20日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 191,634 | 188,848 |
| 売上原価 | 142,863 | 139,774 |
| 売上総利益 | 48,770 | 49,074 |
| 営業収入 | | |
| 不動産賃貸収入 | 2,497 | 2,495 |
| その他の営業収入 | 4,303 | 4,404 |
| 営業収入合計 | 6,800 | 6,899 |
| 営業総利益 | 55,571 | 55,974 |
| 販売費及び一般管理費 | 54,841 | 54,569 |
| 営業利益 | 730 | 1,404 |
| 営業外収益 | | |
| 持分法による投資利益 | 18 | 37 |
| リサイクル材売却収入 | 71 | 86 |
| 受取配当金 | 65 | 51 |
| その他 | 121 | 121 |
| 営業外収益合計 | 277 | 297 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 83 | 77 |
| その他 | 15 | 10 |
| 営業外費用合計 | 99 | 87 |
| 経常利益 | 908 | 1,613 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | 1,191 | 833 |
| その他 | 46 | 20 |
| 特別利益合計 | 1,238 | 854 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | 82 | 0 |
| 固定資産除却損 | 119 | 152 |
| 賃貸借契約解約損 | - | 232 |
| 減損損失 | - | 75 |
| 災害による損失 | - | 143 |
| その他 | 28 | 2 |
| 特別損失合計 | 230 | 606 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,916 | 1,861 |
| 法人税等 | 776 | 726 |
| 四半期純利益 | 1,140 | 1,134 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | - | - |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 1,140 | 1,134 |

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2017年2月21日 至 2017年11月20日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2018年2月21日 至 2018年11月20日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 1,140 | 1,134 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △538 | △410 |
| 退職給付に係る調整額 | 175 | 105 |
| その他の包括利益合計 | △363 | △304 |
| 四半期包括利益 | 776 | 829 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 776 | 829 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | - | - |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。